

令和3年7月14日から15日にかけての 大気不安定による大雨について (大阪府の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

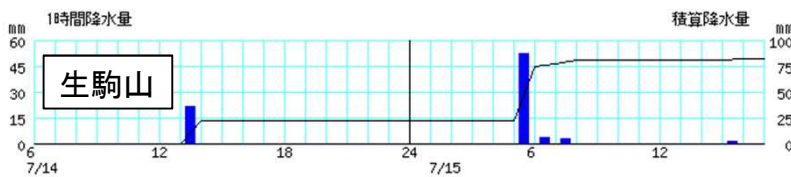
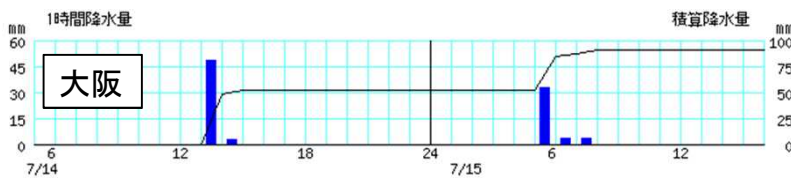
7月14日から15日にかけて、西日本には暖かく湿った空気が流れ込み、上空約6000メートルには平年より3度程度低い氷点下6度以下の寒気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、所々で積乱雲が発達して雷を伴った大雨となりました。

14日昼過ぎには大阪市中央区で1時間に49.5ミリの激しい雨となりました。また、15日の明け方には生駒山で1時間に53.0ミリの非常に激しい雨となり7月としての観測史上1位の値を更新しました。

この大雨の影響で、14日は大阪市で床上浸水2棟、床下浸水9棟、道路冠水16か所が発生しました。また、大阪府内で停電が発生した地域がありました。【被害状況:大阪府とりまとめ(14日19時現在)】

アメダス時系列グラフ

○降水量 (7月14日06時~15日17時) 単位(mm)



※横軸は時刻を示す。
※棒グラフは1時間降水量 (左軸)、折れ線グラフは積算降水量 (右軸) を示す。

レーダー画像

